

## 桐生繊維大学 開校

9月12日(火)に「桐生繊維大学」の開校式を行いました。

同大学は、「繊維産地・桐生」の活性化に向けて、生産から販売にわたる繊維産業の幅広い知識を習得し産地の次代を担う人材を育成することを目的に平成7年よりスタートし、修了者は既に445名を数えます。



23期目となる今年度は15名が参加し、来年2月までの約半年間、講義が開催されます。実施する予定の講義は以下のとおりです。

【基本コース】最近の繊維産業の動向／産地の構成と特色／化学繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／天然繊維の現状とこれからの展開（性能、構造、高機能化）／燃糸について／染色の基本・染色の実習①②／繊維工学の基礎と Topics①②／堅牢度試験 実習／複合繊維について／加工技術／品質管理／マーケティング①②③／ジャパングリエーション展示会視察／桐生地域内工場視察／交流会  
【織物コース（選択講座）】製織について／伝統織物と組織について／織機・機仕掛けについて

## 桐生テキスタイルプロモーションショー開催事業(TPS) スタート



9月1日(金)に TPS コンセプト発表会を開催し、総合プロデューサーの福田敏雄氏（エフプラスカンパニー代表）より今回のコンセプトテーマが発表されました。

今回は、総合コンセプト「Live your dream.」の下、「作り手と使い手」、「担い手と伝えて手」が同一の夢（目的）に向かい、持続可能なものづくりを実現させるための新たなプラットフォームの構築を目指します。

これからの繊維業界は、かつて混じり合うことがなかったヒト、モノ、コトが融合することで、コア（最も中核となる価値）とニッチ（隙間）の感性の化学反応を楽しむことが重要であるとのことから、当 TPS 事業では、デジタル時代であるからこそ「アナログ的手法」や「人との繋がり」を大切に、ものづくり及び販路開拓を行い、来年3月の東京展にて桐生の実勢を展示発表する予定です。

今後はプロデューサー及びアドバイザー（※）による個別ミーティングを行う予定です。

※アドバイザー＝①古田成史氏（販路開拓担当）、②小川雅代氏（洋装製品開発担当）、  
③岩本多玖海氏（和装製品開発担当）、④荘原陽子氏（ディスプレイ担当）

なお、TPS 東京展は、平成30年3月7日(水)、8日(木)に東京青山テピアホールにて開催予定です。

## 「世界の民族衣装展」開催

7月4日（火）から8月6日（日）までの間、当センターで収蔵管理している資料（世界の民族衣装）の中から、「縞模様のある衣装」と題して、ブータンの女性がまとう「キラ」など、アジアを中心に中米やアフリカの染織資料46点を展示公開しました。

また、10月3日（火）から11月5日（日）までの間、「装飾された布たち Vol.1」と題して、きらきらと美しく彩られた14ヶ国の衣装70点を展示公開しました。

なお次回は、「装飾された布たち Vol.2」と題して、11月28日（火）から12月24日（日）までの間、刺繍の使われた衣装を中心に展示公開する予定です。



（上記画像は「縞模様のある衣装」の開催風景）



（上記画像は「装飾された布たち Vol.1」の開催風景）

### ○主な行事記録

8月2日	水	第54回桐生八木節まつり協賛会事務局開き(役職員出席)	市民文化会館
8月3日	木	第54回桐生八木節まつり安全祈願祭(委員長出席)	桐生天満宮
8月4日	金	子どもみこしまつり	新川公園
8月30日	水	「桐生マフラー・ストールブランド化事業」第1回専門委員会(役員出席)	桐生商工会議所
9月1日	金	中島総合法律事務所 センター3階にて開業	地場産センター
		TPS コンセプト発表会	地場産センター
9月7日	木	満喜(株)主催 会計セミナー(職員参加)	東京共和会館
9月12日	火	桐生繊維大学 開校式	地場産センター
		桐生繊維大学「最近の繊維産業の動向」(講師:繊維工業試験場 清水浩二氏)	地場産センター
9月19日	火	洋装TPS実行委員会/和装TPS実行委員会	地場産センター
		桐生繊維大学「産地の構成と特色」講師:業界関係者	地場産センター
9月21日	木	桐生繊維大学「製織について」(講師:繊維工業試験場 篠原正人氏)	繊維工業試験場
9月26日	火	桐生繊維大学「化学繊維の現状とこれからの展開」(講師:小島研究所 小島昭氏)	地場産センター
		「桐生マフラー・ストールブランド化事業」第2回専門委員会(役員出席)	桐生商工会議所